

西耳鼻咽喉科 便り



一人ひとりにあった治療法を提案して、患者さんのお困りごとを解決することを目指しています。

インフルエンザワクチン

暑さも少しずつ収まってきて秋支度を始める方が多くなってくる時期になりました。

秋になると同時に例年だとインフルエンザが流行りだす季節ですが、今年は市内でも 8 月後半からインフルエンザが持続的に広がり始めています。昨年より約 1 か月早いペースでの流行入りとなり、秋を迎えるこれからの時期は特に注意が必要です。

今年は 9 月上旬の段階ですでに基準を超えています。学校や保育園での集団生活、職場での接触機会などを通じて、今後は市内全域に患者数が増えることが予想されます。



★インフルエンザの代表的な症状★

- ・突然の高熱（38℃以上）
- ・全身の強い倦怠感
- ・関節や筋肉の痛み
- ・咳や喉の痛み

一方で新型コロナも発熱や喉の痛みを伴うため、両者を症状だけで区別するのは難しいのが現実です。特に今年はカミソリの刃を飲み込むような痛み「咽頭痛が強いコロナ株」も話題になっており、発熱がある場合は検査による確定診断が重要です。

●インフルエンザワクチン接種●

例年、インフルエンザワクチンは 10 月から接種が始まりますが、今年は流行入りが早まっているため、「できるだけ早めの接種」が有効です。

ワクチンは接種してすぐに効果が出るわけではなく、**およそ 2 週間かけて免疫が定着**します。つまり、10 月の流行本格化を見据えると、**9 月中～10 月上旬に接種を済ませておくのが理想的**です。

効果の持続は **3～5 か月程度**とされており、秋口に接種しても冬の流行ピークに十分対応できます。

もちろん、ワクチン接種のみではなく日頃の**手洗い**や**適切なマスクの着用**、**三密の回避等**で感染防止、拡大防止に努めていただきますようお願いいたします。ショッピングセンターや医療機関などではマスクの着用をしましょう！！

急な発熱、咳やのどの痛み、全身の倦怠感などの症状があらわれた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

